

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.12.25-2010.12.31

2010年12月28日付け「荆楚ネット」より

武漢市民が年始に「目の保養」

昨日の武漢市文化局の発表によると、2011年元旦期間中、武漢で専門的な舞台が52場上演され、また53の文化博覧展覧会と32回の市民文化活動32回が行われ、市民はこのようなパフォーマンスを楽しみながら新年を迎える。

期間中、武漢市直轄の専門芸術院は同市の専門劇場や小規模の劇場にて多彩な観劇を上演する、内容は京劇、漢劇(湖北省を中心とする劇の総称)、楚劇(湖北省に伝わる地方劇)、歌舞、雑技、説唱、新劇、人形劇などのである。様々な人々の芸術に対するニーズに応えて、「楚韻郷音」、「新歌新舞新年祝賀」、「漢曲新風」などの演目が上演される。

イベント企画会社が打ち出すパフォーマンスも素晴らしい。中南劇場では子どもが遊園地で楽しむようなアニメ、クリスマス音楽フェスティバルを開催する。また琴台大劇場、琴台音楽ホール、武漢劇場では主に国内外のハイレベルな観劇を催し、ロシア、アルゼンチン、フランス等からの芸術家達が精彩な演出により武漢市民のために新年を祝福する。

また市民芸術イベントも特別なおもしろさがある。元旦期間中、武漢市民芸術館が漢口バンドにて「新年祝賀」の上演や「魅力武漢」の写真展を開催し、各区でも特色ある地域の市民文化イベントを行う予定である。武漢の各図書館は通常通り開館し、各博物館や記念館では優れた芸術品の展示があり、市民は無料で入場できる。

武漢新年祝賀イベントは現在既に開催されており、同市の文化関係の職員が広場、農村部、住宅団地を訪問して文化イベントを開催する他、農民工(都市に出稼ぎに来た農民)、移民地域の人達を文化慰問する。

2010年12月28日付け「荆楚ネット」より

天河空港新国際ターミナルが昨日正式に開港

武漢天河空港新国際ターミナルが昨日正式に利用開始され、国際線及び香港、アモイ、台湾線の離着陸は全て第1ターミナルから新しいターミナルに移行した。阮成發市長が自ら視察団を率いて、新ターミナルの環境を視察し、施設の完備、サービスの向上、空港建設の加速、中部地域における窓口となる国際空港を目指すよう指示を出した。

武漢市経済発展及び改革開放の急速な発展に伴い、出入国旅客の人数も持続的に増えてきた。今年の旅客出入国は去年同期に比べ、80%増の急成長率をあげ、利用客は35万人を超える予定で、これまでで、最多記録を出した。新国際ターミナルは天河空港第3ターミナルが竣工する前の臨時的ターミナルとして使用される。2015年第3ターミナルがオープンした後、国際ターミナルが専用機ターミナルになり、旅客用のチャーター機、個人ヘリコプターなどの格納庫となる。

新国際ターミナルは天河空港の第2ターミナルの左側に位置し、シルバークレーを基調とし、総建築面積は5130平方メートル、1時間に最大160人の出入りが可能となる。



天河空港新国際ターミナル